

7月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

最終摘果

6月に引き続き最終摘果作業を行った。6月の作業で摘果しきれなかった果実や、取り残しがないかを確認しながら、果実の大きさや形、茎の状態などを見て最終的に残す果実を判断した。

収穫まで残す果実を決める最後の摘果作業となるため、樹全体のバランスも確認しながら作業を進めた。



畑全体の草刈り・直売所の清掃

畑全体の草刈りを行い、梨の樹の周辺や作業場所を整理した。また、8月から始まる梨の収穫・販売に向けて、直売所の掃除・資材の搬入を行い、お客様を迎えられるよう販売場所の環境を整えた。

活動を行った感想など

- 最終摘果では、一部の畑でカメムシによる被害が多く見られ、被害を受けた果実を確認しながらの作業となったため、通常よりも判断や作業に時間がかかった。病虫害の発生状況によって作業の負担が大きく変わることを改めて実感した。
- 販売に使用する資材の価格が高騰しているため、必要な資材をできるだけ無駄にしないよう意識することが重要だと感じた。来年の就農に向けては、作業技術の向上だけでなく資材の効果的な使い方や経費管理についても意識していきたい。

今後の目標など

8月から収穫・販売が始まるため、これまで育ててきた梨を適切なタイミングで収穫できるよう、果実の色や大きさ、状態をよく観察し、品種ごとの収穫適期を見極められるようにしたい。また、収穫だけでなく、選果や袋詰め、直売所への出荷など販売までの一連の作業を経験し、来年の就農に向けて一通り対応できるよう取り組んでいきたい。

